

# Osaka Metro まちさんぽ

深江橋駅

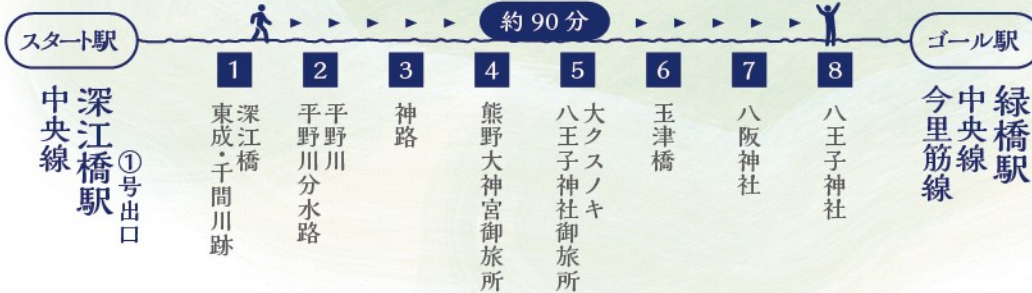
90分  
コース

中央線 深江橋駅

せんげん  
千間川跡から平野川へ

## 平野川流域に開けたのどかな農村地帯

奈良時代に上町台地の東側が東生郡とされました。以来、東生(東成)の地名は1300年後の現在に至るまで続いています。このあたりは旧大和川から分岐した平野川が流れ、江戸時代に千間川(千間堀川)が掘られて水利のよい豊かな農村地帯でした。



このあたりは南北朝の頃、四天王寺の荘園・新開荘として開発され、明治時代に大今里村・東今里村・深江村が合併して南新開荘村になり、大正時代に神武東征の神話にちなんで神路村と改称されました。神路村から西へ藤原道長ゆかりの八阪神社まで巡ります。



深江橋駅  
90分  
コース

# Osaka Metro まちさんぽ

中央線 深江橋駅

せんげん  
千間川跡から平野川へ

## 平野川流域に開けたのどかな農村地帯

奈良時代に上町台地の東側が東生郡とされました。以来、東生(東成)の地名は1300年後の現在に至るまで続いています。このあたりは旧大和川から分岐した平野川が流れ、江戸時代に千間川(千間堀川)が掘られて水利のよい豊かな農村地帯でした。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

中央線深江橋駅①号出口

中央線今里筋線緑橋駅

### 1 東成・千間川跡・深江橋

奈良時代の和銅6年(713)に上町台地の西側を西成郡、東側を東生郡としたのが東成の起こりです。大正14年(1925)に東成郡が東成区として大阪市に合併されたときは旭区・都島区・城東区・鶴見区・生野区を含む大きな区でした。深江橋は、駅の北側で東西に千間(1.8km)の長さで掘られた千間川に架かっていた橋です。千間川は昭和46年(1971)に埋め立てられ、川跡が緑陰道路として残っています。



### 2 平野川分水路・平野川

平野川は大和川から分岐して北へ流れ、千間川や猫間川を加えて寝屋川に注いでいた大きな川でしたが、絶え間なく発生した洪水による浸水被害を防ぐために分水路工事を進めて、昭和33年(1958)に完成しました。戦前まで千間川との合流地点では泳ぐことができたそうです。



### 3 神路

神路村は、『古事記』『日本書紀』にある神武天皇の東征神話から大正時代に名づけられた行政名です。難波津に上陸した天皇軍が大和に向かって東へ進んだ道として暗越奈良街道が想定されています。暗越奈良街道は、古代から難波と奈良を最短距離で結ぶ道として知られ、標高455mの生駒山の暗峠を越える急勾配の険しい街道です。



### 4 熊野大神宮御旅所

もともとこの地には東今里村の氏神である八劔神社がいましたが、同社が明治44年(1911)に大今里にある熊野大神宮に合祀されてから御旅所となりました。御旅所境内には八劔神社社碑があります。



### 5 八王子神社御旅所・大クスノキ

このあたりには明治半ばまで西今里村の氏神・八劔神社がありました。創建は非常に古く、仁徳天皇が高津宮を建てたときに守護神として八劔神社を祀ったという説もあります。大坂の陣で兵火に遭い、江戸時代に八劔大明神として再建され、明治5年(1872)に村社として八劔神社と改称し、さらに明治42年(1909)に八王子神社へ合祀されて御旅所となりました。境内には「前八劔神社跡地」の碑があります。また樹齢約1300年の大きなクスノキがあり「楠神社」とも呼ばれています。明治18年(1885)の淀川大洪水のときに村人40数名がこのクスノキの大枝に3日間避難して命を救われたと語り継がれています。



### 6 玉津橋

暗越奈良街道の平野川に架かっている橋で享保20年(1735)の地誌にも名前が見え、玉津とは玉造の港という意味で近くに船着き場があったとされています。現在の橋は昭和61年(1986)に架け替えられて、江戸時代の絵地図を彫ったパネルが欄干に取り付けられ、また暗峠の雰囲気を出すために石畳風に仕上げられています。



### 7 八阪神社

旧中道村の氏神で、藤原道長がこの場所の近くに別邸を設けて牛頭天王白山権現を祀っていたのが始まりとされています。天正12年(1584)に現在地に遷座して牛頭天王白山権現社と称しました。八阪神社と改称されたのは明治5年(1872)です。



### 8 八王子神社

旧本庄村の氏神で、応神天皇3年(272)の創建で、孝徳天皇より高麗犬1対の奉納があったとされる古社です。八王子稲荷社として、また「椿の宮」として知られていました。明治5年(1872)に百済神社と改称し、明治42年(1909)旧西今里村の八劔神社を合祀して八王子神社と改めました。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年11月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または  で検索

#### ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

#### ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行